

# 社会福祉法人夢の森福社会広報誌【第9号】

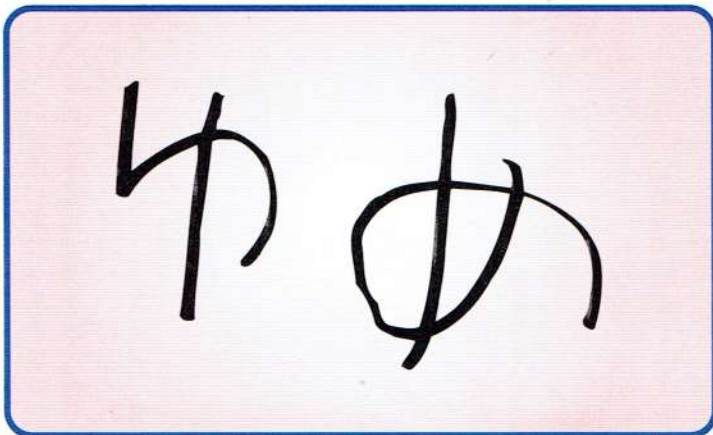
たときのことです。みんなでゆつくり

## ◆生きる力



社会福祉法人夢の森福社会  
理事長 小林 幸正

みんな  
で  
育  
み  
た  
い  
こ  
と



車椅子を降り、杖を頼りに廊下を真剣な表情で何度も往復しています。体調

●発行/社会福祉法人夢の森福社会「ゆめ」編集委員会  
栃木県日光市大沢町274  
TEL.0288-32-2280 FAX.0288-32-2281  
メールアドレス yumenomori1@ap.wakwak.com  
詳しくはホームページをご覧ください

●今号の題字/K・M様(就労B)  
●印刷/有三興社

夢の森 検索

と公園内を移動中、段差にある利用者の車椅子を押しあげているAさんの姿があります。さりげないそのしぐさに、二人の心の通い合いが感じられます。

不良のとき以外は、毎日欠かすことのない日課です。  
・一日の作業が終了し、各コース別の送迎バスは、順々に施設を出発し帰路につきます。残りが何台かになる頃、軒先をひとり箒で掃いているCさん。誰からの指示でもなく、自分が乗るバスを待つわずかな時間でのひとコマです。  
・昼食時の食堂で「昨日(我が家の夕食)は〇〇だったよ。おいしかったよ」と話すDさん。食後、食器を戻しながら調理員に「お手伝いしますか」、廊下ですれ違いながら「午後(の作業)も頑張るよ」。楽しい会話が弾む家庭なのでしょう。  
・身辺処理のほとんどを介助に頼るEさん。寝たきりの姿勢ですがこころの動きは止まることはありません。職員への働きかけに視線や手足の動きが一瞬止まり、意味を聞き取るうとする気持ちをはつきりと表れます。  
・Fさんは編み物が好きです。毎日せつせと毛糸で小物を作り、同室の利用者の皆さんの日用雑貨として提供してくれています。ときには支援員室にも顔を見せ、ゆつくりとした口調で、困りごとを相談することもあるようです。

＊誰か(何か)に依存することによって、私たちは生きていくことができます。その集合体である社会生活は、ひととひとをつなぐコミュニケーション力を中心とする「生きる力」を、それぞれが発揮されることで形づくられています。  
「生きる力」は、何かを生産できるという力ばかりでなく、そこに居るだ



けで周囲を和やかな気持ちにさせてしまうような不思議な力まであるという具合に、多種多様です。  
その成り立ちは、様々な要因や環境などによるものとされますが、加齢などで発揮される方も刻々と変わってしまいます。その現実には、誰もが戸惑いながらも変化に対処し、折り合いをつけながら生きていくはずは、ありません。

◆笑顔と共有  
東京オリピック・パラリンピックが近づいています。パラリンピックでは、障害種別や程度によるハンデが細かく規定され、一定の選手だけが有利になるのを防ぐためにルールの改善が

図られているようです。

福祉の世界においても「やった」「できた」という経験の積み重ねは、自尊心を生みます。しかし、達成すべき課題（ハードル）が、到底達成が困難なほど高すぎたりの外れだったりする課題であれば、自信喪失や無力感を生みかねません。私たちは、適切な課題を設定する力も必要とされているのです。

そのうえで、利用者個々の特性を適切に把握し、利用者が自分の思いを手にするためにできることは何か、その技能（スキル）を獲得するために繰り返し返すべきことは何か、そのための留意点は何か、などを考えることとなります。

しかもそれは、利用者・家族・職員が協力し、計画的に継続できる取り組みでなくてはなりません。その過程での達成状況や新たな課題への対応への検討や見直しについても同様です。

利用者の皆さんが自ら身に付けた「生きる力」によって、自分の思いが叶えられ笑顔が自然に浮かぶとき、家族や職員もその喜びが共有できることを夢見ながら、日々の活動に当たりたいと思います。

### ◆むすび

社会状況の変化に伴って、福祉業界に対するニーズも刻々と変化しています。命題である利用者の安心・安全の確保だけでなく、「ガバナンス」を向上させることにより、「不易とされる公益性や非営利性を実現させるよう求められています。介護報酬や障害福祉サービス等の報酬の改定などの法整備

が進み、歳入を支える加算や減算対象も見直されています。

私たちはそれらに応じた方策を講じながら、利用者や家族の皆様から信頼をいただける法人をめざし、さらに創意と工夫を重ねていきます。

令和時代がスタートしたいま、利用者並びに家族の皆様はもとより、関係各位にも私たちがめざそうとしていることについて、更なるご理解とご協力を心よりお願いする次第です。

### ♪利用者家族の会より



利用者家族の会  
会長 鷹背 平一郎

昨年6月の総会において、家族の会会長になり一年が過ぎようとしています。

夢の森福祉会も施設長が変わり、後援会主催で行われていた『夢フェスタ』が法人主催で実施され、内容も大きく変わり、「家族の会」の皆様も大変とまどった事と思います。昨年の総会時の理事長挨拶に、法人の組織全体の基盤強化を優先課題とし、そのための職員の確保と、職員の配置転換（適材適所）を行い、継続的かつ安定的に、質の良い福祉サービスを提供することに努める、というお話がありました。また、外部研修や内部研修を通し

て人材育成等職員体制の強化を行う等々・・・夢の森は今、大きく変わるために動き出しているように思います。

夢の森福祉会は、開設時から現在に至るまで、「家族の会」「後援会」の二本の柱で支えてきました。家族の会として、夢の森んピック、夏祭り、夢フェスタ等の行事に、利用者と共に参加しましょう！

「利用者家族の会」会則第3条の目的に、「この会は施設と家族と地域社会との緊密な連携協力により、利用する人達の可能性を信じ、その開発進展と社会適応能力を高めるなどに協同し、会員相互の資質向上につとめ、施設の充実発展に協力することを目的とする」とあります。

家族の会会員の皆様のご協力をお願いします。

### ♪後援会より



夢の森福祉会後援会  
会長 西岡 一明

後援会会長を拝命致しまして二年が経ちました。一年目は何もよく分からないまま、夢フェスタの開催がありました。反省内容もつかめなまま終了致しました。そして二年目には夢フェスタも法人

主催となり、ようやく内容を理解出来ました。

常日頃より、障がい者の社会全体への理解という事の大切さをよく理解している者として、「夢の森福祉会」の役割は非常に重いものだと思っております。後援会の立場としても、会員法人、また個人の拡大のために努力していく所存です。そのためには様々な場面で「夢の森福祉会」の活動を発信していく機会を持っていく所存です。また夢の森としても地域への発信を続けて頂きたいと思っています。

社会全体の障がい者への理解を万全のものとしていくためには、まずは足元から行動していかなければならないのですから。

小林理事長との懇談などで、夢の森福祉会がさらに理想と考える方向に向かっていっていると感じています。スタッフの方々も色々とお苦勞されて居られると推察申し上げます。それも利用者皆様の幸せと、社会全体に広がるであろう明るく優しい社会の実現へと向かうためであり、きつと充実した活動が展開されることでしょうか。

私も非才の者ではございますが、様々な場面で地域社会の活性化に尽力している所です。微力ではございますが、二期目を迎えた後援会長として応援していくことをお約束し、挨拶とさせていただきます。



# 就労継続支援B型のご紹介

## ★就労継続B型とは

・定員 十五名 ・利用登録者数 十六名

就労継続支援B型とは、通常の事業所に雇用されることが困難な障がい者に対し、就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、その知識及び能力の向上のために必要な訓練を行う事業です。  
軽作業等の仕事を通して訓練を重ねることで、実務経験が身につけ最終的には一般就労に向けてのスキルや、安定した生活環境を整えることを目的としています。

## ★こんな作業をしています

### (1) 室内作業

#### ①箱折り・シール貼り

「明治の館」という店舗で販売されているチーズケーキを入れる箱折りや袋のシール貼りを行っています。不自然な折り目が付かないようにしたり、シールが曲がらない様に貼ったりと気をつけながら行っています。

箱折り



シール貼り



### (2) リサイクル作業

コンビニ等から缶やペットボトルを回収してきてアルミ缶・スチール缶・ペットボトル・ビン等に仕分けし、缶は機械で潰して業者に納品しています。

選別をしています



機械で缶を潰しています



### (2) 施設外作業

#### 【西の杜霊苑清掃・文挾駅駐輪場点検】

宇都宮にある西の杜霊苑で、週に一回除草や掃き掃除等の清掃作業を行っています。また、日光市文挾駅の駐輪場の点検（放置自転車や破損個所が無いかな等）を週二回行っています。

西の杜霊苑清掃



文挾駅駐輪場管理



### (3) 販売事業

就労支援部では、「ともに明日へ」という思いを込めて『tomorrow』（トゥモロー）という屋号で自主生産品の販売等に取り組んでいます。

#### ① ろまんちつく村販売

宇都宮市道の駅「ろまんちつく村」内のローズハット館内で「ベリーズクリスタル」というかき氷販売を9月に2回行いました。



#### ② 日光市役所内カフェ販売

10月2日（水）より日光市役所内カフェスペース「だいち」にてカフェ『tomorrow』を始めさせていただきますことになりました。9月中はプレオープンを行っており、不定期営業でしたが、10月からは月・水・木・金の10時30分～15時00分での営業しております。

コーヒーや自家製レモネード、クッキーやブレマジンジェなどを販売しています。10月下旬から利用者様にもカフェに参加していただいていますので皆様是非お越しください。



# 生活介護のご紹介

## ★生活介護とは

・定員 三十五名 ・利用登録者数 四十名

常時介護を必要とする障がいのある方に、入浴・排泄・食事等の介護や、創作活動、生産活動等の機会を提供します。そして、障がいのある方が、自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、生活能力の向上のために必要な援助を行います。

## ★ほんなっとつていきます(活動内容)

### (1) 生活支援

#### ① 食事介助

調理スタッフと情報共有し、利用者個々の状況に応じた、刻み食・軟菜食・お粥等の提供や、見守り・一部介助・全介助等の支援を行います。



#### ② 入浴介助

心身の健康を保ち、常に清潔さを保持できるように、週4回入浴の機会を提供しています。また、衣服の着脱・洗体・洗髪等が安全かつスムーズにできるように、見守り・一部介助・全介助等で対応させて頂いています。

寝たまま、座ったままでも大丈夫です



いろいろな利用者様の状態に対応できるトイレが揃っています



#### ③ 排泄介助

おむつの交換や、自立している利用者の方への見守りを行います。

### (2) 作業支援

生産活動への意欲、能力のある利用者様に対して、適切な作業環境を用意し、活動を提供します。

ペットボトルラベルはがし



陶芸活動



### (3) 生きる力の育成指導

必要に応じ、利用者様の持つ強い力の向上と、補う力の底上げを図るための環境と支援の提供を行います。

個別活動：歩行活動



個別活動：創作活動



個別活動：音楽活動



個別活動：体操



荷物の自己管理



コミュニケーション補助ボード



### (4) 健康・衛生管理支援(看護師による支援)

塗り薬や飲み薬の管理や使用も含め、利用者様の状態に応じて、きめ細やかな健康管理を行います。



# 夢っ子(放課後等デイサービス)のご紹介

・定員 十名  
・利用登録者数 二十四名

## ★放課後等デイサービスとは

\*障がいのある就学児童生徒（小学生～高校生）が、学校の授業終了後や長期休業中に通うことができる施設です。

\*学校や家庭以外の場で過ごす中で、生活能力の向上のために必要な訓練や、社会との交流の促進、その他の便宜を供与します。

\*必要に応じて、レスパイトケア（ご家族の一時的休養）としての役割も果たします。

## ★こんな指導をしています

### (1) 自立した日常生活を営むために必要な訓練

- ① 食事、排泄、着替え、掃除、調理等日常生活で必要な能力の向上を図ります。
- ② 平仮名の書き方や、計算等の学習に必要な能力の向上を図ります。



③ ソーシャルスキルトレーニングや、集団活動におけるコミュニケーションスキルの向上を図ります。

④ 就労を見据えたPCや、作業スキルの能力の向上を図ります。



### (2) 創作的活動・作業活動

〔例〕・砂粘土による造形

- ・工作
- ・絵
- ・季節に合わせた創作等



### (3) 地域交流の機会提供

社会経験や生活経験が豊かになるようイベントを企画しています。

- 〔例〕・近くの店での買い物
- ・遠足
- ・夢の森との合同行事の開催等



### (4) 余暇活動の提供

自由に遊んだりリラクゼーションしたりできる環境を整備し、提供しています。

〔例〕

- ◆ 静の時間
- ・ 昼食後、明かりを消して静かにする時間を作る。



自然と小声で話したり、ゴロゴロしたりするようになった。

◆ 動の時間

- ・ カラオケ
- ・ ミニゲーム
- ・ リレー
- ・ 鬼ごっこ
- ・ ダンス
- ・ 鍵盤ハーモニカ等々

### (5) 個別支援の工夫

◆ 見える化の推進

- ・ 日課
- ・ 整理整頓
- ・ 着替え
- ・ 挨拶等々



外でも屋内でも、元気いっぱい！笑顔で活動しています。コミュニケーションの学習にもなっています。



# 夢ホームのご紹介

- ・ 第1夢ホーム定員 共同生活援助 7名 / 短期入所 3名
- ・ 第2夢ホーム定員 共同生活援助 6名 / 短期入所 2名

## ★こんなことしています(活動内容)

### ① 見える化

日課表

平日(夢の森 通所日)

6:30	起床・バイタルチェック
7:00	朝食 自由時間
8:45	送迎バス到着・夢の森へ
16:10	帰寮・バイタルチェック 入浴・自由時間
18:00	夕食 自由時間
21:00	消灯

### お風呂順番表



第1夢ホーム



第2夢ホーム

## ★こんな夢ホームをめざします!

- ・ 利用者様一人ひとりが安全な生活と健康をモットーに、心のうるおいや笑顔など心豊かに生きていけるように支援をする。
- ・ ここで知り合った「縁」を大切に。
- ・ 夢ホームでの生活の中で、仲間の一人であるという自覚を引き出し、気づくことから思いやりを育てていく。
- ・ 「ただいま」「行ってきます」の時間を大切にして、心がホッとできる場所作りをする。
- ・ 失敗してもそれを認め、次に生かしていける経験を積めるようにする。
- ・ その人らしく、生きることを楽しめる場になるようにする。

### 洗濯物干し



### 食器片づけ



### 食材カット



② 自立支援  
洗濯物干しや食器の片付け等、自分でできる範囲で、自分のことは自分でやっていけるよう支援しています。自分のことだけでなく、他の方や職員のお手伝いもしてくださるなど、思いやりの心も膨らんでいます。

利用者の皆さんの「〜したい」「こんなことに困っている」等という思いを反映させて、みんなで決めたことを、文字やイラスト等で掲示しています。

### ③ 寛げる場・人と楽しく関われる場の提供 (アット夢ホーム)

夢ホームのよさは、自分一人だけでなく、他の利用者の方と一緒に過ごす時間を持つという点にあると思います。夢ホームでは、利用者がゆったり楽しく過ごせるよう、イベントや寛ぎの時間を設けています。



パジャマでのんびり



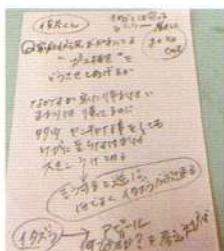
外でバーベキュー



みんなでカードゲーム

## ★職員はこんなこともしています

① ケース検討  
パニックやいたずら等、個別のケースについて「なぜそれが起きたのか」をみんなで検討しています。



### ② 食事の提供

調理済みのものを湯煎する簡便利メニューから、ちゃんと調理する形へ。栄養があり、味も満足できる美味しい食事の提供を始めました。



## 平成30年度 事業実績／決算報告

「人と人と 心豊かに 共に生きてあることを 共に生きて輝くことを」を基本理念とし、今年度は事業推進に当たり、組織全体の基盤強化を優先課題として掲げ、事業を支えるための職員の確保と職員の配置転換（適材適所）を行い、継続的かつ安定的に質の良い福祉サービスを提供することに努めた。さらに、外部研修や内部研修を通して人材育成等職員体制の構築を行なった。

地域における公益的な取組では、地域の方の参加や協力を得てお祭り（夢フェスタ）を開催することができた。

### ●理事会開催状況

第1回	平成30年5月25日(金)
第2回	平成30年5月29日(火)
第3回	平成30年6月11日(月)
第4回	平成30年8月22日(水)
第5回	平成31年2月 7日(木)
第6回	平成31年3月27日(水)

### ●評議員会開催状況

第1回	平成30年5月25日(金)
第2回	平成30年6月27日(水)
第3回	平成31年2月18日(月)
第4回	平成31年3月27日(水)



小栗 高田 記美子 幸  
 《監事2名》  
 山柳 口 美知子  
 星野 友一  
 鷹背 平一  
 峯山 敏正  
 小林 幸正  
 《理事6名》  
 津久井 秀一  
 杉田 育男  
 原田 友美  
 檜山 光治  
 船生 雅秀  
 秋澤 芳秀  
 柿崎 龍夫  
 《評議員7名》

(西暦2019年10月1日現在)

### ●平成30年度 決算財務諸表(法人単位)(単位/円)

#### ◆財産目録

流動資産	171,857,873
基本財産	222,059,702
その他の固定資産	65,893,207
資産合計	459,810,782
流動負債	19,234,122
固定負債	27,031,768
負債合計	46,265,890
差引純資産	413,544,892

#### ◆貸借対照表

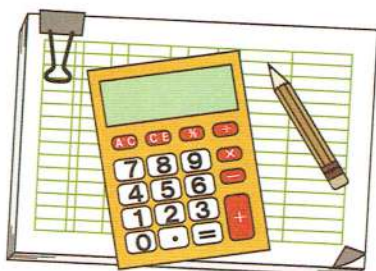
流動資産	171,857,873
固定資産	287,952,909
資産の部合計	459,810,782
流動負債	19,234,122
固定負債	27,031,768
負債の部合計	46,265,890
基本金	84,058,750
国庫補助金等特別積立金	103,369,929
その他の積立金	342,136
次期繰越活動収支差額	225,774,077
純資産の部合計	413,544,892
負債及び純資産の合計	459,810,782

#### ◆資金収支計算書

収入	就労支援事業収入	2,824,269
	障害福祉サービス等事業収入	145,816,707
	経常経費寄附金収入	0
	受取利息配当金収入	2,969
	その他の収入	2,016,995
	事業活動収入計	150,660,940
支出	人件費支出	128,465,471
	事業費支出	19,834,327
	事務費支出	14,790,446
	就労支援事業支出	4,059,918
	支払利息支出	455,855
	その他の支出	1,728,640
	事業活動支出計	169,334,657
	事業活動資金収支差額	▲18,673,717
収入	施設整備等補助金収入	0
	施設整備等寄附金収入	0
	固定資産売却収入	0
	施設整備等収入計	0
支出	設備資金借入金元金償還支出	5,059,552
	固定資産取得支出	9,133,556
	その他の施設整備等による支出	609,327
	施設整備等支出	14,802,435
	施設整備等資金収支差額	▲14,802,435
収入	積立資産取崩収入	152,045
	その他の活動による収入計	152,045
支出	積立資産支出	1,044,398
	その他の活動支出計	1,044,398
	その他の活動資金収支差額	▲892,353
	当期資金収支差額合計	▲34,368,505
	前期末支払資金残高	191,421,391
	当期末支払資金残高	157,052,886

#### ◆事業活動計算書

収益	就労支援事業収益	2,824,269
	障害福祉サービス等事業収益	145,816,707
	経常経費寄附金収益	0
	サービス活動収益計	148,640,976
費用	人件費	129,376,245
	事業費	19,921,998
	事務費	14,790,446
	就労支援事業費用	4,059,918
	減価償却費	14,416,688
	国庫補助金等特別積立金取崩額	▲5,566,621
	サービス活動費用計	176,998,674
	サービス活動増減差額	▲28,357,698
収益	受取利息配当金収益	2,969
	その他のサービス活動収益	2,016,995
	サービス活動外収益計	2,019,964
費用	支払利息	455,855
	その他のサービス活動外費用	1,728,640
	サービス活動外費用計	2,184,495
	サービス活動外増減差額	▲164,531
	経常増減差額	▲28,522,229
収益	施設整備等補助金収益	0
	施設整備等寄附金収益	0
	固定資産売却益	0
	特別収益計	0
費用	固定資産売却損・処分損	195,769
	特別費用計	195,769
	特別増減差額	▲195,769
	当期活動増減差額	▲28,717,998
	前期繰越活動増減差額	254,473,654
	当期末繰越活動増減差額	225,755,656
	基本金取崩額	0
	その他の積立金取崩額	152,045
	その他の積立金積立額	133,624
	次期繰越活動増減差額	225,774,077



# 相談支援「ドリーム」

・利用者118名（成人94名・児童24名）



❖ 夢の森利用者並びに日光市に住む障がいを持つ方が、地域生活を営めるように、  
 ・一人一人のニーズや、困っている事を聴き取り、  
 ・福祉サービスや制度の紹介をしたり、  
 ・地域の方々への協力を求めたり、  
 ・関係機関との連携を図ったりしながら、  
 サービス等利用計画を作成し支援します。

## ★「ほんないふく」つづきます(活動内容)

- ① 丁寧な相談対応
- ② 生きる力が持てるサービス等利用計画の作成
- ③ モニタリング
- ④ 支援者会議等の開催

## 健康管理部



◆調理：利用者様の健康維持・改善のために、おかゆや軟菜食、エネルギーコントロール食等を提供しています。また必要に応じて、身体の状態に合った、食器やスプーン等を使って頂いています。

◆看護：利用者様が、自分なりに意欲を持って夢の森で生活していけるように、健康状態の把握や体調不良・けが等への対処は勿論、心の状態にまで気を配っています。

## 車両部



安全・安心な運転は当たり前。夢の森の走る広告塔として、きれいでスムーズな走りができるようどんな日でも走行前後にメンテナンスを行っています。

## 陶芸製品です

❖ぜひ、お買い求めください。以下で販売しています。

- 夢の森福祉会  
（日光市大沢町）
- 日光市大谷川公園内直売所  
（日光市瀬川）



# 後援会会員大募集!!

個人年会費(1口) **1,000円**  
 団体年会費(1口) **5,000円**  
 ご支援頂ける方は、夢の森福祉会までご連絡をお願いします。  
 ☎0288-32-2280

【目的】社会福祉法人夢の森福祉会の運営並びに事業の援助後援を図り障害のある人々の福祉の増進に寄与することを目的としています。

- 〔事業〕
- 1 施設の理解を深めるための事業
  - 2 施設整備充実に関する事業
  - 3 施設と地域の交流と親睦を図る事業
  - 4 資金の確保、援助に関する事業
  - 5 その他この会の目的達成に必要な事業

## 【続きです】日光市役所 カフェ営業

tomorrow (トゥモロー)



好



大



評!



## 編集後記

・この度の不祥事により、利用者様・ご家族様、地域や関係機関の皆様等々、多くの方々にご心配、ご迷惑をおかけし、本当に申し訳ございませんでした。この場をお借りしお詫び申し上げます。

・ところで、この件では私たち職員の気持ちも大きく揺れてしまいました。でもそれを救ってくださったのは、いつもの変わらない利用者様の「笑顔」でした。普段は当たり前を感じていたのですが、自分たちが利用者様の笑顔に、どれだけ日々パワーを頂いていたかに改めて気づいた一件でもありました。ただ、ただ感謝あるのみです。

・今回の「ゆめ」は、各部ごとに支援内容を見直し、まとめたものです。これをベースに、さらに利用者様の笑顔が増えるよう、全員でRe・スタートした夢の森です！どうぞ、今後ともよろしく願いします。  
 <編集委員一同>